

妊婦の風疹感染防止を！



富永 悦子 議員

問 風疹の患者数が急増しており、感染防止策や予防策を講じて万全な体制をつくる必要がある。風疹ワクチン接種費用の助成に対する考えを聞きたい。

健康福祉部長

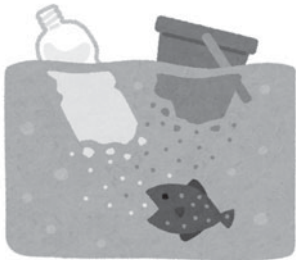
本市では、県の無料抗体検査の積極的な利用を市民に勧め、国においては定期予防接種の機会がなかった年代の男性への抗体検査と予防接種の実施方法が検討されている。市の助成については、風疹患者の状況と国の動向を見極めながら検討していく。

◆プラスチックごみ対策

問 プラスチックごみによる海洋汚染が問題となっており、プラスチック製品の使い捨てを削減して再利用を促す方策を検討すべきと考えるがどうか。

生活環境部長

本市では、個人で無理なく取り組めるマイバッグ等の持参、はかり売りや詰めかえ商品の購入などを積極的に呼びかけている。市民一人一人がライフスタイルに合わせ、みずから実践できることに取り組んでいただく3Rプラス1運動を引き続き推進し、プラスチックごみの削減に向けて努力していく。



小中学校での人権教育について問う！



吉田 晴信 議員

問 不合理な差別や偏見のない社会を実現するためには、小中学生の段階から人権教育に取り組むことが重要であると考えるがどうか。

教育長

各学校では、人権を尊重した差別のない人間関係の育成を目指し、計画的・組織的に人権教育を推進している。差別をしない、させない、許さない子どもを育てるとともに、差別に負けず、さまざまな不安や悩みを乗り越えられる力を育成するため、学校における人権教育を今後も推進していく。

◆女性活躍の推進

問 女性の活躍を積極的に後押しする場を構築し、提供する必要があると考えるが、本市の取り組みを聞きたい。

総務部長

働く女性のキャリアアップとネットワーク構築を目的とした女性活躍応援講座を県と連携して開催し、講義のほか、参加者同士の情報交換会も行った。今後も関係機関との連携強化を図り、女性の職業生活における活躍を後押しできるような取り組みを推進していく。



▲女性活躍応援講座の様子

子宮頸がんの予防の取り組みを！



中島 真弓 議員

問 子宮頸がん検診では、がん細胞が進行する前の状態を見つけることができ、がんの早期発見・治療につながる。受診率向上のため、未受診者への再勧奨はがき等を工夫すべきと考えるがどうか。

健康福祉部長

はがきの色つけや内容も毎年検討し、平成30年度は検診が短時間で済むなどのご案内をした。また、健診実施医療機関の協力を得てリーフレットを配布し、かかりつけ医師から受診を勧めていただけるよう連携に取り組んでいる。さらに受診率が上がるように先進地の事例等も参考にし、工夫していきたい。



▲子宮頸がん検診未受診者への受診勧奨はがき

◆児童虐待の対応と里親制度の取り組み

問 国は児童虐待防止対策における相談体制強化のため、市町村に子ども家庭総合支援拠点の設置を促している。本市における設置の考えを聞きたい。

健康福祉部長

現在、家庭児童相談室に必要な専門職を配置し、機能強化を図っている。家庭総合支援拠点の設置については、子育て世代包括支援センター等との連携を強化しながら、先進都市の事例なども参考に検討していきたい。